

大雨 が降ったときには

- ①河川には近寄らない。
- ②地盤が緩んでいるところには近寄らない。
- ③外出を控える。



自助

地震 が起きたときには

- ①家や屋内ではテーブル等の下で落下物から身を守る。
- ②外出時には窓ガラス、看板等落下物に注意する。
- ③車の運転時は急ブレーキを避けて、速やかに道路左側に車を寄せて止める。



テレビ、ラジオなどで災害の情報を得る。

土砂崩れ 危険

洪水 建物倒壊

集中豪雨等により避難する時の目安は

各パンフレットは、手稲区役所で配布しております。
また、「札幌市洪水ハザードマップ」は札幌市危機管理対策室のホームページでダウンロードできます。
<http://www.city.sapporo.jp/kikikanri/aramasi/panf.html>

大規模な地震の際は避難勧告、避難命令が出されます。
速やかに避難場所へ

大雨等により避難する時の目安

(札幌市洪水ハザードマップより)

行政がとる行動

状況

皆さんがとる行動

情報収集や警戒活動の準備に入ります。

警戒配備体制をとり、災害情報等の収集・確認や警戒巡視を行います。

自主的避難（避難勧告準備）を促します。必要に応じて避難場所を開設し職員を派遣します。

避難勧告を発令し、住民の皆さんに避難を呼びかけます。また、避難場所を開設し職員を派遣します。

避難指示を発令、災害対策本部を設置し、応急活動を実施します。

台風情報
大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

危険な予感

降雨がさらに強まる、河川の増水、道路の冠水、地下駐車場等への浸水等

災害危険大(避難勧告)

災害危険切迫(避難指示)

テレビやラジオ等で今後の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、雨の降り方や浸水の状況で危険を感じたら、自主的に避難しましょう。避難する前に、親戚や知人に連絡するようにしましょう。

いつでも避難できるように避難の準備をして、テレビやラジオの放送、市役所や消防署等からの呼びかけに注意しましょう。

最寄りの指定された避難場所に速やかに避難しましょう。

最寄りの指定された避難場所に直ちに避難しましょう。